

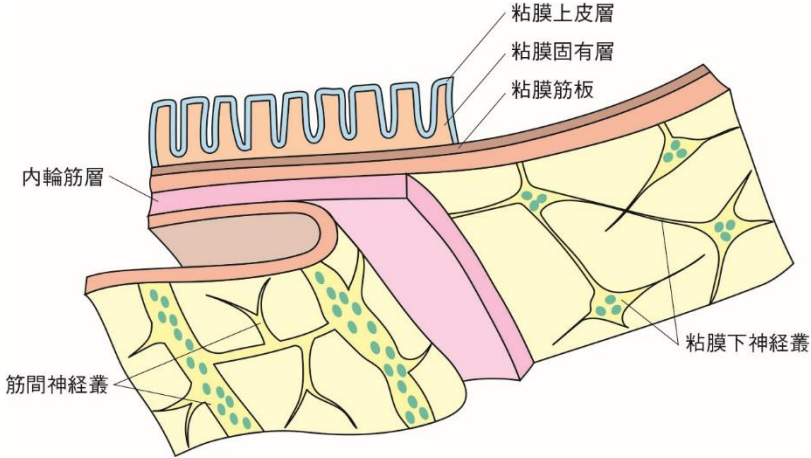
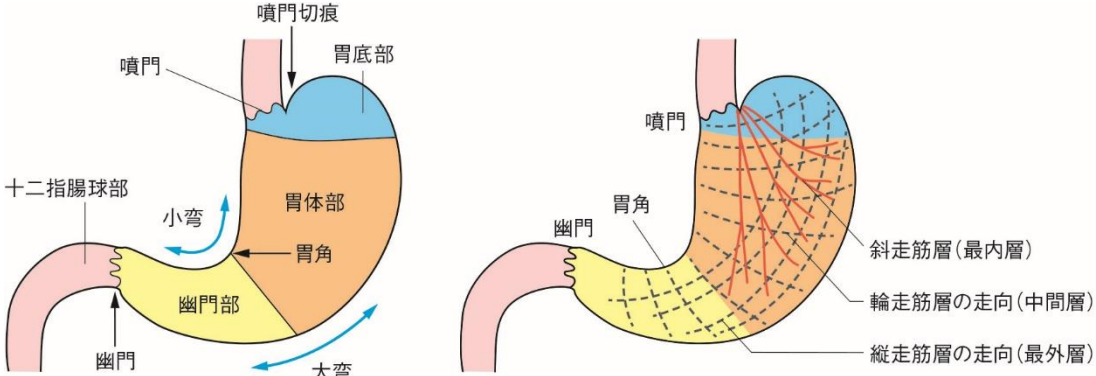
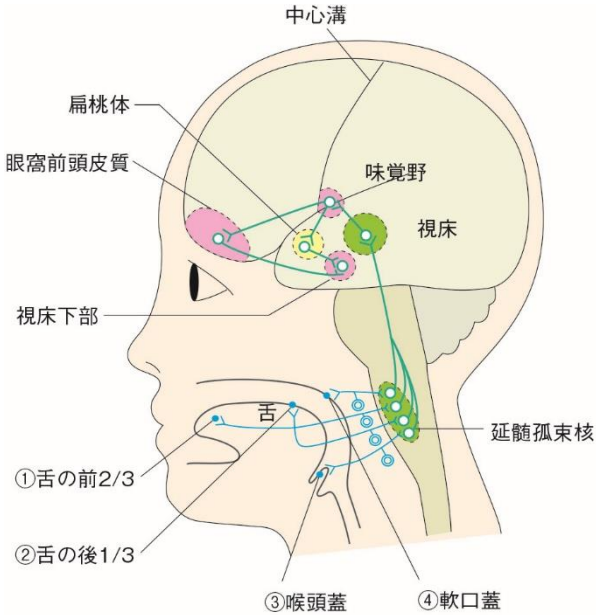
『解剖生理学』(2版1刷) 正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。当該書籍に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

株式会社 南山堂

該当箇所	誤	正
p. 7 図 1-9 (説明文)	必要なものであり、るものである。	必要なものである。
p. 21 図 2-8 (説明文)	ここは外胚葉である	ここは胚外中胚葉である
p. 23 図 2-11 (5.多列円柱線毛上皮部分)	綿毛があるもの	線毛があるもの
p. 56 図 2-49 (中央下)	HPo4 ²⁻	HPO4 ²⁻
p. 91 図 4-10 (説明文)	成長骨端軟骨で	成長が骨端軟骨で
p. 93 図 4-12 (説明文)	骨膜と線維膜を	滑膜と線維膜を
p. 121 本文 16 行目	③橈尺関節	③上橈尺関節
p. 174 図 6-2(右図の囲み内)	12: 左鎖骨下動脈	12: 鎖骨下動脈
p. 177 図 6-5 (説明文)	上行大動脈基から	上行大動脈基部から
p. 189 本文 下から 8 行目	は100/分です。4コマで心拍数75/分, 3コマで60/分です。	は60/分です。4コマで心拍数75/分, 3コマで100/分です。
p. 207 図 6-39 (図中文字)	後頸骨動脈	後脛骨静脈
p. 231 本文 下から 3 行目	アルブミンには	アルブミンは
p. 256 本文 下から 8~10 行目	MHCクラス I は抗原提示細胞以外のすべての細胞がもつ自己を示す身分証明書であり、免疫応答のうえで重要な役割を果たします。なお、抗原提示細胞がもつ身分証明書は、MHC クラス II といえます。	「MHCクラスIIは、赤血球を除いたすべての細胞が自己を示す身分証明書であり、免疫応答の上で重要な役割を果たします。なお、抗原提示細胞がヘルパーT細胞に抗原提示するさいに使う皿は、MHCクラス II といえます。
p. 265 図 8-2 (タイトル)	筋膜神経叢	筋間神経叢
p. 272 本文 3 行目, 11 行目	茸状乳頭	葉状乳頭
p. 285 図 8-23 (説明文)	S細胞は胃酸の分泌をそれぞれ刺激する	S細胞は胃酸によって、ホルモンの分泌が刺激される
p. 337 図 9-24 (タイトル)	中枢科学受容野	中枢化学受容野
p. 380 図 11-25 (右上)	固有索卵巢	固有卵巢索
p. 429 図 13-12	 :伸筋 :屈筋	 :伸筋 :屈筋
p. 493 本文 10, 11 行目	ラフィニ小体	ルフィニ小体
p. 519 図 15-17 (説明文)	涙腺が開口する涙腺の中央	涙腺が開口する。涙腺の中央
p. 534 図 15-34 (中央下)	味覚細胞	味覚線維

●差し替え図

<p>p. 265 図 8-2</p>	
<p>p. 280 図 8-20</p>	
<p>p. 535 図 15-35</p>	 <div data-bbox="1098 1760 1329 1861" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①と④：顔面神経の枝 ②：舌咽神経の枝 ③：迷走神経の枝</p> </div>